

製品バージョン 12.XX と以前のバージョンとの機能差分について

2023 年 9 月発行

本資料は、

Linux 版 WebSAM GlancePlus / WebSAM Glance+Pak

HP-UX 版 OpenText™ GlancePlus software / OpenText™ GlancePlus Pak software

のバージョン 12.XX とそれ以前のバージョン(11.XX 以前)の機能差分の概要について説明するものです。

バージョン 12.XX の機能差分の詳細については、OEM 元より提供されているバージョン 12.XX に関する以下の資料も合わせて参照してください。

- ・リリースノート : Operations agent 12.XX Release Notes
- ・ユーザーガイド : Operations agent 12.XX User Guide

なお、OEM 元のマニュアルサイトからの資料入手方法については、NEC カスタマーサポートセンターへお問合せ願います。

1. 常駐プロセス

機能	以前のバージョン(11.XX 以前)	12.XX
常駐する製品プロセス (新規インストール時)	midaemon ttd ovcd ovbbccb scopeux coda perfalarm perfd ovconfd	midaemon ttd ovcd ovbbccb oacore hpsensor perfd ovconfd

2. 性能情報の蓄積(蓄積機能、rollout 処理、閾値通知) その1

機能	以前のバージョン(11.XX 以前)	12.XX
性能情報の蓄積機能 (データコレクタ)	scope / coda scope データコレクタ(UNIX, Linux では scopeux, Windows では scopent)、 coda データコレクタが、システム全体の性能情報を蓄積します。	oacore scope/ coda データコレクタに代わり、 oacore データコレクタがシステム全体の性能情報を蓄積します。 (OA 12.00 より scope, coda は oacore に統合されました。)
性能情報蓄積ファイルの形式	ログファイルベースのデータストア形式(rawlog形式) ファイルの格納場所: /var/opt/perf/datafiles 配下	RDBMSに基づくデータベース形式 ファイルの格納場所: /var/opt/OV/databases/oa 配下

性能情報の蓄積(蓄積機能、rollout 処理、閾値通知) その2

機能	以前のバージョン(11.XX 以前)	12.XX
性能情報の蓄積ファイルの縮退機能(rollout 処理)の実行条件	<ul style="list-style-type: none"> ・指定したメンテナンス時刻 ・指定したファイルサイズ ・指定した記録期間(日数) ・指定した曜日 <p>をサポートしています。</p>	指定したファイルサイズのみサポートしています。
閾値通知	perfalarm により閾値通知機能が提供されています。	<p>新規インストール時、perfalarm による閾値通知機能は提供されません。</p> <p>通知機能を有効にするには、別途 perfalarm の設定が必要です。</p> <p>OA 11.XX からのアップグレード時は、perfalarm による閾値通知機能が有効になっています。</p>
旧バージョンの性能情報の継続使用	旧バージョンの性能情報を継続して使用することができます。	旧バージョンの性能情報を継続して使用することはできません。
他サーバの PA が蓄積した性能情報の自サーバへの取り込み(プロキシデータ機能)	取込みが可能です。 PAが自サーバの性能情報を蓄積している状態で、他サーバの性能情報を取り込み、参照することができます。	取込みはできません。 自サーバの性能情報の蓄積を停止し、性能情報を退避した後、他サーバの性能情報を取り込み、参照することは可能です。ただし、自サーバの性能情報が蓄積できなくなります。
プロセスデータの蓄積条件(閾値条件) : procthreshold のパラメータ	cpu memory disk nonew nokilled (shortlived)	cpu memory disk io nonew nokilled (shortlived)

3. utility プログラム(性能情報の蓄積ファイルをスキャンする時などに使用)

機能	以前のバージョン(11.XX 以前)	12.XX
utility プログラムの実行	<ul style="list-style-type: none"> ・バッチモード ・対話型モード ・コマンドラインモード をサポートしています。	コマンドラインモードのみサポートしています。
resize コマンド (性能情報蓄積ファイルのサイズ変更)	サポートしています。	サポートしていません。
scan コマンド (性能情報蓄積ファイルの走査)	サポートしています。 (製品インストールサーバの構成情報、製品の設定変更履歴、メトリッククラス単位での蓄積期間、レコード数、サイズなどの走査が可能です。)	サポートしています。 (新規インストール時は、蓄積期間とレコード数のみ走査が可能です。 旧バージョンからのアップグレードの場合には、旧バージョンの性能情報蓄積ファイルに対してのみ、構成情報、製品の設定変更履歴、メトリッククラス単位での蓄積期間、レコード数、サイズなどの走査が可能です。)

4. extract プログラム(性能情報蓄積ファイルから性能情報を抽出する時などに使用)

機能	以前のバージョン(11.XX 以前)	12.XX
extract コマンド (性能情報を蓄積ファイルより外部ファイルへ抽出する時などに使用)	<ul style="list-style-type: none"> ・対話型モード ・コマンドラインモード をサポートしています。	コマンドラインモードのみサポートしています。
出力ファイルタイプ	<ul style="list-style-type: none"> ・ASCII 形式 ・DATAFILE 形式 ・ワークシート形式 ・バイナリー形式 をサポートしています。	ASCII 形式のみサポートしています。

5. 性能メトリック

機能	以前のバージョン(11.XX 以前)	12.XX
BYLS メトリック (仮想化ホストから仮想化ゲストの構成情報を参照する際に用いるメトリック)	サポートしています。	サポートしていません。
HBA メトリック (ホストバスアダプタ用メトリック)	サポートしていません。	サポートしています。

6. 使用する仮想メモリの使用量について

OA 12.XX は製品プロセス構成や性能情報の蓄積方法が大きく変更された関係で、仮想メモリの使用量が OA 11.XX に比べ増加します。

(製品動作の設定や使用条件に影響しますが、工場出荷時の状態で概ね 2600MB から 3300MB と実測値ベースで2割強増加します。)

本製品は OpenText 社のライセンスに基づく製品です。

Copyright © 2023 Open Text Corporation. All Rights Reserved.

OpenText™／オープンテキスト、そのロゴおよび製品は、英国、米国またはその他の国における OpenText またはその子会社もしくは関連会社の商標または登録された商標です。その他のマークはすべてそれぞれの権利者の財産です。

以上